

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京 都 府 知 事	26年 7月 15日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府宇治市槇島町24、16番地	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 株式会社 微生物化学研究所 代表取締役社長 直江 千代

環境マネジメントシステムの名称	KES環境マネジメントシステム ステップ1
適用範囲	株式会社 微生物化学研究所 本社及び包装配送センター
導入年月日	平成25年5月1日
認証番号	KES1-1300
基本方針	株式会社 微生物化学研究所は、動物用医薬品の製造、販売に係わる全ての活動、製品及びサービスの環境影響を低減するために環境関連の法規を順守、環境汚染の予防の推進及び環境マネジメント活動の継続的改善を図る。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	(1) 地下水使用量の前年比1%削減 (2) コピー用紙使用量の前年比3%削減 (3) 会社周辺の清掃
目標を達成するための取組の内容	(1) 地下水使用量の前年比1%削減・・・節水シールボス等の掲示、終業時の水利用の適正化、不使用時の閉栓の徹底、日常用水利用の適正化 (2) コピー用紙使用量の前年比3%削減・・・両面コピーの積極的利用、不要書類の裏面使用 (3) 会社周辺の清掃・・・毎月1回の工場周辺の清掃
目標を達成するための取組の進捗状況	(1) 地下水使用量の前年比1%削減・・・節水シールの貼付け、水漏れ箇所の調査及び修理、週末の終業前の閉栓のアナウンスを実施 (2) コピー用紙使用量の前年比3%削減・・・両面コピーの積極的利用、不要書類の裏面使用を実施中 (3) 会社周辺の清掃・・・毎月1回の工場周辺の清掃を実施中
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	(1) 地下水使用量の前年比1%削減は、前年比3%増加した。 (2) コピー用紙使用量の前年比3%削減を達成した。 (3) 会社周辺の清掃は、計画通りに取組めた。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況については年1回確認を行っている。 これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しの必要性については、原則1年に1回検討している。平成25年度の目標で地下水の使用量の削減は達成できなかったため、26年度も継続した。会社周辺の清掃は、一定の成果が見られた為、26年度も継続した。環境影響評価の順位の高かった一般廃棄物は、一般廃棄物管理体制の構築を実施する。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。